

科目名		プレゼン技法			
担当教員		渡邊 美歌		実務授業の有無	有
対象学科		建築デザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		プレゼン技法の前期はPowerPointを学ぶ。在学中のコンペ資料作成、発表での操作および、プレゼンテーションに役立つ知識を身につける事を目的としている。また前期授業最終週には検定試験を受ける。全員が合格することを目指す。			
学習目標 (到達目標)		アプリケーション操作を身に付ける。検定試験に合格する。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		PowerPointクイックマスター・講師が準備するプリント・サーティファイ検定問題集			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	設定とインストール			サーバー接続の設定。テキストデータのインストール 終わった人からスキルリサーチシートの入力	
2	プレゼンテーションの作成と文字編集			PowerPointの画面構成と文字の入力、箇条書きの設定について学習する。	
3	オブジェクトの作成			図形描画と編集・ワードアート・画像ファイルの挿入について学習する。	
4	表やグラフの作成			表の作成と編集・グラフの挿入について学習する。	
5	表示効果とハイパーリンク スライドショー			画面切り替えとアニメーション、スライドショー、資料の作成と印刷について学習する。	
6	プレゼンテーションのカスタマイズ			スライドマスターやセクションの作成など、プレゼンテーションをカスタマイズすることを学習する。	
7	SmartArtの活用			図表をいかに上手に使えるかがプレゼンテーションでは重要。SmartArtを使用して、図表を作成する流れを学習する。	
8	オブジェクトや表・グラフの活用 検定対策			図形や画像の活用について学習する。検定への本格的な対策を開始する。	
9	検定対策			検定対策練習問題を使用し、検定への力をつける。個人的にアドバイスをしながら、合格レベルまで高める。	
10	検定対策 (模擬試験)			検定対策模擬問題を使用し、検定本番と同じように問題を解きながら進める。個人的に弱い部分を見極め、対策する。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	検定結果		最近是非常PowerPointが幅広い使われ方をするようになってきました。検定取得を目標としながら、その中で操作をしっかりと習得します。コンペ資料を作成するためにも非常に重要なアプリですので頑張ってください。	
5 %	25 %	70 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		企業のデータ処理等の請負業務、雇用対策講座・パソコン教室でのインストラクター業務			